

特集

私のだざいふ、トピックス ……2～3

新型コロナウイルスワクチンの接種について、
新型コロナウイルス感染症自宅療養者等食料・
生活物資支援のご案内 ……4

史跡指定100年記念事業をコロナ
対応で実施します ……5

元気づくりポイントについて ……6

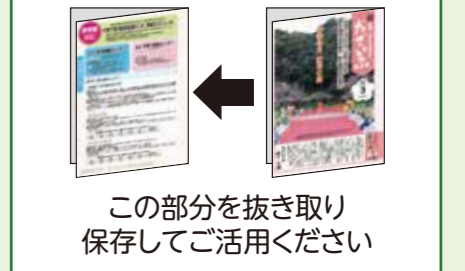
住民異動届休日窓口サービス ……7

太宰府市長寿クラブ連合会 ……8

市からのお知らせ ……9～11

連載 ……12～14

保存版 母子保健&子育て支援カレンダー
……………15～24



連載 ……25～30

なんでも情報コーナー ……31～37

太宰府の文化財 ……38

私のだざいふ

太宰府市税制審議会会長

おおの まこと
大野 誠 さん



ずいぶん前のことだが、昭和45年の初夏、勤めていた西日本新聞の社会部長から大宰府の企画キャンペーンをやろうとの提案があった。私は県教委の担当で、この大宰府特別史跡には奈良国立文化財研究所から発掘技師、藤井功さんが派遣されていた。会って話すうちに「まさか自分が遠く福岡まで来るとは思っていなかった」「ここに骨を埋める覚悟だ」という発言があった。その後、県教委の文化課長、九州歴史資料館副館長にもなられた方だ。

これで私との縁が深まり、ついに昭和54年に住まいを太宰府市に設けた。藤井さんからは公私にわたってお世話になったが、ある日、突然の訃報に接した。53歳だった。

藤井さんの九州国立博物館づくりにかける思いはなかなかのものだった。それをしのぶ「藤井桜」が博物館園内にあるという。ぜひ行ってみよう。

話は変わるが、数年前、太宰府市から税制審議会の会長にとの話があった。さて?と悩んだが、市民である以上、引き受けざるを得ないと決心した。太宰府市内の駐車場を利用する車から駐車料金とは別に「歴史と文化の環境税」をいただく制度を審議するのだ。

この会には市民の代表、駐車場経営者、税制に詳しい方々もいて論議を重ねている。いつも思うのは大宰府の過去、現在、そして未来に続く文化を大事に守るという気持ちは皆同じだということ。私たちはその気持ちを引き継ぎ、歴史や文化を守っていくために、この税制が果たす役割を深く考えていかなければならない。

トピックス

令和発祥の都太宰府

史跡指定100年初春令月事業をコロナ対応で実施

2月13日、1300年の時空を超えて元号「令和」の由縁となった「梅花の宴」を再現する催しが行われました。うらかな陽気の中、梅がほころぶ大宰府政庁跡にて、参加者は色鮮やかな万葉衣裳をまとい三十二首を朗唱しました。

また、翌14日にはプラム・カルコア太宰府で「中西進先生をお迎えする初春令月」講演会が開催されました。昨年の中止から一年越しの念願の講演で、当初は来訪いただく予定でしたが、緊急事態宣言が延長され、中西先生のご体調も考慮し、急きょ京都のご自宅と会場を結んだリモート講演といたしました。

「令和の精神—太宰府から世界へ」と銘打たれた講演では、「かつて遠の朝廷と呼ばれた大宰府は古代日本のもう一つの中心であった」という榎田国家論を説かれ、「その地太宰府市から令和が誕生し、市民の皆さんは喜びと誇りを持って下さい」とやさしく呼びかけられました。令和の考案者とされる中西先生ご自身から令和発祥の都太宰府の存在意義を明らかにしていただく貴重な機会となりました。



梅の花の下で催された梅花の宴



リモートで会話する中西進先生と榎田市長

産学官連携

大学生・留学生への食事支援と生活相談会を実施

太宰府市役所で2月8日、筑紫女学園大学などが太宰府市内に通う大学生・留学生を対象にした食事支援と生活相談会を実施しました。コロナ禍でアルバイトが激減したり、実家や母国からの仕送りが滞ったりし、生活に困窮する学生を支援するために同大が企画・主催し、エフコープ生活協同組合や太宰府市社会福祉協議会などが共催、本市が協力して開催。芋煮の炊き出しや弁当、インスタント食品などが無償で提供され、リモート授業や将来についての悩みなどの相談も受け付けていました。



貝だくさんの芋煮の炊き出しを提供

産学官連携

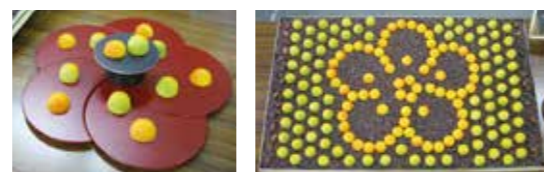
福岡農業高校とチョコレートショップが梅チョコを発売

1月13日、福岡農業高校食品科学科梅研究班と有限会社チョコレートショップが、令和発祥の都太宰府市の梅を使って共同開発した“世界を目指す新作チョコレート”の発表会が市役所で開催されました。

梅研究班が梅を加工し、チョコレートショップが学生のアイデアを基に試作を繰り返し完成させました。ホワイトチョコレートをベースに、とろりとしたジュレが詰まった「梅ジュレ入り」と、ザクツとした実の触感が楽しめる「梅の実入り」の2種。福岡市のチョコレートショップ本店のほか、フランスのレトロワショコラなどで販売する予定です。



発表会で梅チョコをお披露目



市内高校と連携

筑紫台高校が飛沫感染防止アクリルパーテーションを贈呈

筑紫台高校から緊急事態宣言下の1月27日、飛沫感染防止アクリルパーテーション100枚という心温まる贈り物をいただきました。生徒会の生徒がコロナ禍のなかで何か社会貢献ができればと企画し、工業科の生徒がレーザー加工機でプログラムを組んでアクリル板を加工して、土台とパネルを、生徒と職員で取り付け製作したそうです。いただいたパーテーションは、窓口やイベント会場、会議室などで活用させていただきます。



生徒会会長の内田羽音さん(左)と同副会長西岡勇祐さん(中央)

地元高校の活躍

筑紫台高校女子剣道部優勝報告

昨年12月の全国高等学校選抜「高校生想代」剣道大会で優勝した筑紫台高校女子剣道部が1月27日に市役所を訪れ、楠田市長に結果を報告しました。新型コロナウイルスの影響で大会が相次いで中止となるなか、代替大会という異なる環境で頂点を極めたのは素晴らしいことです。主将の佐藤美空さんは、「(大会中止の)悔しさをバネに、念願の日本一を勝ち取ることができました」と報告しました。



優勝に輝いた筑紫台高校女子剣道部

市民の活躍

保護司が秋の叙勲などを受章

筑紫保護区保護司会太宰府支部の増田なるみさんが秋の叙勲で瑞宝双光章を受章、辻野哲朗さんが法務大臣表彰を受賞し、昨年12月16日、報告に楠田大蔵市長を訪ねました。保護司は犯罪や非行をした人の立ち直りを支える活動と犯罪防止の啓発を行うボランティア。お二人は長年にわたる活動が認められ表彰されました。



辻野さん(左から2番目)と増田さん(左から3番目)